

九州歯科大学 第2期中期計画

平成24年3月

公立大学法人九州歯科大学

第二期中期計画 目次

中期目標		中期計画	頁
		前 文	1
1. 教育	歯科保健医療の分野において活躍する優秀な医療人を育成する。	1. 地域の歯科保健医療に貢献する歯科医師及び歯科衛生士の育成	3
		①初年次教育の改編・充実 ②専門課程における教育カリキュラムの検証と充実 ③成績評価基準の明確化と厳格な評価の実施 ④教育の成果・効果の検証	
		2. 特色ある大学院教育による優れた教員・研究者の育成	5
		①大学院教育組織の検証と適正な運用 ②歯科保健医療に貢献する教員・研究者の育成 ③歯工学連携大学院の充実	
		3. 教員の教育力の向上	7
		①FDによる創造的授業開発の推進 ②教育力向上のための教育力評価システムの開発	
		4. 適性のある優秀な人材の確保	8
		①アドミッションポリシーを重視した入学選抜試験の実施 ②広報活動の実施 ③高大連携の実施	
		5. 学生への支援	10
		①学習相談・助言・支援の組織的対応 ②就職支援の充実 ③経済的支援の充実	
2. 研究	大学の特色ある教育や地域社会の発展に役立つ研究を推進する。	1. 研究水準並びに研究成果の向上	12
		①適正な研究者の配置及び研究費の配分 ②研究の事後評価システムの充実 ③外部大型研究資金の獲得 ④産学官連携の推進	
3. 社会貢献	大学の特色を活かして、社会貢献活動を拡充する。	1. 地域社会への貢献及び国際交流に関する体制の構築・維持	14
		①リカレント教育の充実 ②他大学との社会貢献共同プログラムの実施及び研究成果等の地域への発信 ③アジアを軸とした海外との連携促進 ④地域住民の健康増進に資する普及・啓発活動の実施 ⑤地域における在宅療養高齢者に対する歯科保健医療サービスの提供	
4. 業務運営	理事長のリーダーシップのもと、大学運営の改善を推進する。	1. 事務局体制の強化	16
		①大学の戦略的・自律的運営を企画主導する企画広報部門の設置及び運営体制の検証 ②プロパー職員の採用と専門性を持った大学職員の育成 ③SDの実施や専門研修等への派遣、キャリア開発支援等を軸とした事務局職員の資質・能力の向上	
		2. 安全管理体制の整備・充実	17
		①情報ネットワークや情報セキュリティの強化による情報マネジメントシステムの拡充 ②安心・安全の医療を提供するための体制の整備	
		3. 教員個人業績評価の充実	18
		①個人業績評価制度の検証と適切な運用	
		4. 附属病院の業務改善	19
		①診療科再編による診療体制の充実 ②地域包括型歯科医療連携の機能の整備 ③療養担当規則をベースとした保険診療の推進	
5. 財務	経営者の視点に立って、法人の財政運営を行う。	1. 法人収入の確保	20
		①外部研究資金等の獲得	
		2. 運営経費の抑制	21
		①事務局業務の外部委託、電子決裁システム導入や業務のシステム化による事務の省力化・人件費の抑制	
		3. 附属病院の収入の向上	22
		①地域包括型歯科診療連携体制に基づいた高次医療の提供による収入増 ②先進医療及び自費診療の積極的推進による収入増 ③訪問歯科診療の促進による収入増	
6. 評価及び情報公開	評価を厳正に実施し、大学運営に反映する。また、大学情報を積極的に公開する。	1. 外部評価の大学運営への反映	23
		①適切な自己評価の実施及び外部評価の大学運営への反映	
		2. 全国唯一の公立歯科大学としてのブランドイメージの確立	24
		①教育・研究活動情報及び研究実績の学外への積極的な発信 ②百周年記念事業を活用した大学情報の発信	
		その他中期計画において定める事項	25
		I. 収支計画予算及び資金計画予算 II. 短期借入金の限度額 III. 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 IV. 剰余金の使途	

第二期九州歯科大学中期計画 前文

九州歯科大学は、平成26年に創立100周年を迎える伝統ある大学であり、これまで多くの優秀な歯科医師を輩出してきたが、平成22年度、歯学部に口腔保健学科を新設し、「口腔医学の総合大学」として新たな教育体制を構築し、歯科衛生士を含めた歯科医療人の育成を開始した。

近年、我が国において、国民の健康管理に対する意識が高まり、口腔内を健康に保つことにより全身的な健康増進がもたらされるという考え方が定着し、これからの歯科医療人には、全身の健康という視点に立った歯科医療活動が求められるようになった。さらに、他領域の医療職と一体となって、口腔機能の維持・向上や口腔ケアなどが新たな職責として加えられるようになった。

そこで、新たな社会的要請を踏まえ、第2期中期計画では、大学の理念及び教育方針のもと、歯学科と口腔保健学科がそれぞれの個性と特色を活かしつつ、綿密に連携して患者の視点に立ったチーム医療を行うことができる歯科医療人を育成する。

さらに、九州歯科大学を取り巻く環境が大きく変化するなかで、理事長の強いリーダーシップのもとで、戦略的、自律的、効率的な法人の業務運営を継続し、大学が一丸となって、個性ある歯科医学教育プログラムのもと魅力ある大学作りを推進する。

1. 教育

平成23年に改訂された歯学教育モデル・コア・カリキュラムを教育改編に活用し、九州歯科大学として個性的な教育カリキュラムを構築して、高度な口腔保健医療活動が行える実践的歯科医療人の育成を目指す。

- (1) 初年次教育から、歯科医療人としての高い志を育むという視点での教育活動を展開し、豊かな人間性と生命の尊厳についての深い認識を有し、口腔の健康を通して人間の命と生活を守るという職責を自覚した歯科医療人を育成する。
- (2) 口腔保健学科に大学院を設置し、歯学科とともに歯学部2学科で特色ある大学院教育を展開し、高い科学的思考性をもった人材を育成する。さらに、歯工学連携をより充実させ、学際領域との連携を深める。
- (3) 教職員が一体となって、積極的にオープンキャンパス、高校訪問、高大連携などを推進し、歯科医療人の社会における必要性をアピールし、社会に貢献する優秀な人

材を確保する。

- (4) FD 活動を通じて、歯科医学教育の変化に対応できる質の高い教育能力を持つ教員の養成に努める。一方、教員に対しては、個人業績評価システムで得られた業績評価結果をもとに継続的な自己研鑽を求める。
- (5) 口腔保健学科の設置にともない、キャリアガイダンス、就職支援や経済的支援活動などを強化し、学生支援のさらなる充実に向けて積極的に活動する。

2. 研究

適正な教員配置と研究費配分を継続し、大学の軸となる研究プロジェクトを推進する。さらに、大学として外部研究資金の獲得を目指し、研究成果を国内外に発信する。

3. 社会貢献

大学と附属病院がもつシーズを活用し、ライフノーション分野におけるリカレント教育を充実させるとともに、アジア等を主眼においた歯科保健医療活動を通じて国際貢献を進めていく。

4. 業務運営

事務局機能や安全管理体制の充実、附属病院の業務改善を進めるなど、運営体制を改善する。また、教職員の人事の適正化を図るとともに、専門性を持った大学職員の育成を行うなど、理事長の強いリーダーシップのもと、戦略的、自律的な大学運営を行う。

5. 財務

自律的運営の視点に立ち効率的な財務運営を行い、法人として自己収入確保の検討、運営経費の抑制、附属病院の収支改善などを進めていく。

6. 評価および情報公開

大学評価および個人業績評価の充実を図り、評価結果を公表するとともに、評価結果をすみやかに大学運営に反映させる。さらに、全国唯一の公立歯科大学としてのブランドイメージを関連分野のみならず地域社会に発信し、幅広い広報活動を通して存在感をアピールする。

中期目標	項目	教育
中期計画	項目	地域の歯科保健医療に貢献する歯科医師及び歯科衛生士の育成 1. 授業要綱の検証と改善 2. 成績評価基準の明確化 3. 教育の効果・成果の検証
	実施事項	1. 初年次教育の改編・充実 2. 専門課程における教育カリキュラムの検証と充実 3. 成績評価基準の明確化と厳格な評価の実施 4. 教育の成果・効果の検証

中期計画内容								
1	実施事項	初年次教育の改編・充実						
	内容	①初年次教育で、歯科医療人としての職務を体験させ、プロフェッショナルとしての自覚を高めるような教育カリキュラムを作成する。						
	評価指標	指標			達成目標			
		学生の成績			平均GPA 2.5以上(満点4)			
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	初年次教育の改編	検討	実施					→
2	実施事項	専門課程における教育カリキュラムの検証と充実						
	内容	①歯学教育モデル・コア・カリキュラム改訂版(H22年度)に準じて、臨床登院実習を中心に歯学科カリキュラムを充実させ、実践的歯科医師育成を推進する。 ②1～4年次の完成年度(H25)以降、卒業生の就職状況を踏まえて、口腔保健学科カリキュラムを検証する。 ③チーム医療の意識の醸成を目的とした歯学科と口腔保健学科の連携科目を開講し、口腔保健医療の総合大学としてアピールできるカリキュラムを編成する。						
	評価指標	指標			達成目標			
		学生の成績			平均GPA 2.5以上(満点4)			
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	教育カリキュラムの充実(歯学科)							→
	教育カリキュラムの検討(口腔保健学科)			検証	改善			→
両学科連携科目の開講	実施	検証					→	

3	実施事項	成績評価基準の明確化と厳格な評価の実施						
	内容	①モデル・コア・カリキュラム改訂にあわせた各教科の到達目標と成績評価基準を授業要綱に明示する。 ②厳格な成績評価を行う。						
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	授業要綱の開示							→
	学生からの意見聴取							→
		検討	実施	検証				
4	実施事項	教育の成果・効果の検証						
	内容	①歯学科は、共用試験Objective Structured Clinical Examination (OSCE)とComputer Based Testing (CBT)を教育効果という視点で活用する。 ②入学試験、定期試験、共用試験、国家試験の結果の相関を分析し、両学科とも国家試験の高い合格率の維持を目指すとともに、入学試験方法の改善を図る。 ③卒業試験に臨床実習試験制度を導入する。						
	評価指標	指標						達成目標
		(歯学科) 共用試験						共用試験合格率 100%
		(歯学科) 国家試験合格率						全国29大学の中で常にトップクラスを目指す
	(口腔保健科) 国家試験合格率						歯科衛生士国家試験 100%(新卒受験者)	
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	共用試験のデータ解析							→
国家試験のデータ解析							→	
卒業時臨床実習試験制度の導入							→	
		検討	実施	検証				
試験問題の検証と適正化							→	
		検討	実施					

中期目標	項目	教育
中期計画	項目	特色ある大学院教育による優れた教員・研究者の育成 1. 授業要綱の充実と改善 2. 大学院指導の客観的評価 3. 学位審査方法の検証
	実施事項	1. 大学院教育組織の検証と適正な運用 2. 歯科保健医療に貢献する教員・研究者の育成 3. 歯工学連携大学院の充実

中期計画内容								
1	実施事項	大学院教育組織の検証と適正な運用						
	内容	①大学院カリキュラムを定期的に検証し、高度歯科医療人育成に向けて体系的な教育プログラムを構築する。 ②学位審査方法及び募集定員を検証し、質の高い教育・研究者の育成を目指す。 ③臨床系大学院指導の客観的評価法を検討する。						
	評価指標	指標					達成目標	
		学生の成績						平均GPA 3以上
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	大学院カリキュラムの検証							→
	学位審査方法及び募集定員の検証							→
	大学院指導の客観的評価法の充実							→
		検討	実施	検証				
	2	実施事項	歯科保健医療に貢献する教員・研究者の育成					
内容		①豊かな科学性と論理性を備えた人材を育成するために口腔保健学科に大学院を設置する。						
評価指標		指標					達成目標	
		口腔保健学科大学院の充足率						100%
実施計画		H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
口腔保健学科大学院修士課程の設置								→
口腔保健学科大学院博士課程の設置の検討								→
	検討	設置申請	開設	検証				
			検討					

3	実施事項	歯工学連携大学院の充実						
	内容	①歯工学連携の充実を図り、大学院教育のカリキュラムを改編する。						
	評価指標	指標					達成目標	
		大学院連携による相互単位認定者					10名以上(年間)	
		論文数					英文誌5件(年間)	
		特許保有件数					1件(第2期中期計画期間を通して年間に保有する件数)	
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	大学院連携による大学院教育の充実						→	

中期目標	項目	教育
中期計画	項目	教員の教育力の向上 1 教育実施体制の検証・改善 2 評価方法の検証・改善と適切な運用
	実施事項	1. FDによる創造的授業開発の推進 2. 教育力向上のための教育力評価システムの開発

中期計画内容								
1	実施事項	FDによる創造的授業開発の推進						
	内容	①FD活動を充実させ、学部および大学院における教育活動の改善につなげる。 ②FD活動の有効性を検証する。						
	評価指標	指標					達成目標	
		FD参加率およびアンケート調査					参加率95%、平均4点以上(満点5)	
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	FD活動の充実							→
	教育手法の検証と改善							→
2	実施事項	教育力向上のための教育力評価システムの開発						
	内容	①教員の授業力向上のために、授業評価や個人業績評価データを活用し、年次推移などを踏まえた分析を行い、講義だけでなく臨床実習も含めた形で、教員の教育力を多面的に評価できるシステムの開発を目指す。 ②学生の授業評価、同僚による授業評価等の結果を教員にフィードバックし、授業改善に役立てる。 ③教員に対して、組織的に教育活動の改善を求める。						
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	教育力評価システムの開発							→
		検討	実施	検証				
教育活動の検証と改善							→	

中期目標	項目	教育
中期計画	項目	適性のある優秀な人材の確保 1. 高いモチベーションを有する人材を確保する入学試験方法の開発 2. 高校訪問やオープンキャンパスなどによる充実した広報活動の展開 3. 新たな高大連携事業の展開
	実施事項	1. アドミッションポリシーを重視した入学選抜試験の実施 2. 広報活動の実施 3. 高大連携の実施

中期計画内容							
1	実施事項	アドミッションポリシーを重視した入学選抜試験の実施					
	内容	①アドミッションポリシーという視点で個別入試およびAO入試結果を検証する。 ②平成21年度告示高等学校学習指導要領に基づく大学入試センター試験改訂に対応する。					
	評価指標	指標			達成目標		
		AO入試の志願倍率および辞退率			[歯学科] AO入試 志願倍率 3.0倍 辞退率 0% 一般入試 志願倍率 4.5倍 辞退率 5%		
	一般入試の志願倍率、辞退率			[口腔保健学科] AO入試 志願倍率 3.0倍 辞退率 0% 一般入試 志願倍率 2.7倍 辞退率 10%			
実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
個別面接及び集団討論の検証・見直し	検討	実施	評価				→
入試選抜方法の変更	検討			実施	評価		→

2	実施事項	広報活動の実施						
	内容	①オープンキャンパス、高校訪問、大学入試説明会のデータを分析し、実効的な活動を展開する。						
	評価指標	指標					達成目標	
		オープンキャンパス、高校訪問および大学入試説明会実績値					オープンキャンパス参加者数	250人
							高校訪問数	110校
							大学入試説明会参加数	15回
	オープンキャンパス、高校訪問および大学入試説明会の参加者に対するアンケート調査					オープンキャンパス 評価4以上	80%	
						高校訪問 良好評価	60%以上	
					入試説明会 良好評価	60%以上		
志願者数(志願倍率)					〔歯学科〕 志願者数(志願倍率)350人(4.5倍) 〔口腔保健学科〕 志願者数(志願倍率)60人(2.7倍)			
実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考	
オープンキャンパスの検証							→	
	検討	実施	評価					
高校訪問の検証							→	
	検討	実施	評価					
3	実施事項	高大連携の実施						
	内容	①高校との連携を深め、組織的に模擬講義を企画運営する。 ②高校の進路指導教諭を対象とした大学施設見学会の実施等を行う。						
	評価指標	指標					達成目標	
		模擬講座実施回数、参加学生数、参加者アンケート					・実施回数	6回
							・参加学生数	80人
							・良好評価	60%以上
	大学施設見学会実施回数、参加教諭数、参加者アンケート					・実施回数	1回	
						・参加教諭数	20人	
					・良好評価	60%以上		
実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考	
模擬講座の充実							→	
	検討	実施	評価					
施設見学会の実施							→	
	検討	実施	評価					

中期目標	項目	教育
中期計画	項目	学生への支援 1. 学生のニーズや社会状況の変化に対応した学生支援の実施 2. 教員、職員が連携したきめ細かな学生支援の実施
	実施事項	1. 学習相談・助言・支援の組織的対応 2. 就職支援の充実 3. 経済的支援の充実

中期計画内容									
1	実施事項	学習相談・助言・支援の組織的対応							
	内容	①学生相談業務を充実し、支援体制の拡充を図り、きめ細かな学生支援を実施する。 ②学年主任会議、学生対策指導会議などを通して連携を強化し、教職員が一体となって問題案件の解決を図る。 ③保護者説明会を開催し、成績不振学生への修学指導を行う。							
	評価指標	指標			達成目標				
		学生支援に関するアンケート調査			評価4以上(満点5)				
	評価指標	保護者説明会に関するアンケート調査			評価4以上(満点5)				
		実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	学生相談業務の検証								
	学生生活ガイダンスの定期的開催	実施	検証						
	保護者説明会の開催								
	2	実施事項	就職支援の充実						
内容		①就職支援体制を整備し、入学時からキャリアデザインを支援する取り組みを行う。 ②口腔保健学科では、歯科衛生士としての位置付けにとどまらず、口腔保健活動の新たな担い手として就労できるように幅広い就職先を開拓する。 ③学生に対し、就職情報獲得のためのセミナーを開催し、就職支援を推進する。							
評価指標		指標			達成目標				
		(歯学科); 歯科医師臨床研修マッチング率			100%				
		(口腔保健学科); 就職率			100%				
評価指標		訪問先の企業・病院・施設でのアンケート調査			良好評価60%以上				
		実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
組織的なキャリアデザイン支援		検討	実施	検証					
新たな就職先開拓		検討	実施	検証					
専任職員の配置		実施	検証						就職支援室に専任の事務職員を配置する。
就職支援のためのセミナーの開催	実施	検証							
広報資料等の作成	検討	実施	検証						

3	実施事項	経済的支援の充実						
	内容	①図書館やTA等により、学内で学生・大学院生を臨時的に雇用するなど、経済的支援を充実させる。 ②授業料の減免・分納制度や奨学金情報の周知徹底を図る。						
	評価指標	指標					達成目標	
		TA制度の認知度					100%	
		学生支援機構以外の奨学金の認知度					100%	
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	経済支援の充実							
	実施	検証						

中期目標	項目	研究
中期計画	項目	研究水準並びに研究成果の向上 1. 全学的研究事業の展開 2. 研究成果の公表
	実施事項	1. 適正な研究者の配置及び研究費の配分 2. 研究の事後評価システムの充実 3. 外部大型研究資金の獲得 4. 産学官連携の推進

中期計画内容								
1	実施事項	適正な研究者の配置及び研究費の配分						
	内容	①大学として特色ある研究、地域社会の発展に役立つ研究を推進するため、教員の研究業績を評価分析し、各分野における教員配置の適正化を図る。 ②大学に貢献する研究に対し、研究費を重点配分する。						
	評価指標	指標						達成目標
		研究成果に応じて配分する学長配分研究費の割合						40%
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	教員の適正配置	検討	実施	検証				→
	研究費の重点配分	検討	実施	検証				→
2	実施事項	研究の事後評価システムの充実						
	内容	① 研究活動の事後評価システムを適正化し、各研究者の研究活動を公表する。 ② 研究開発成果などの知的財産を総合的かつ戦略的に管理・活用する知的財産部門を設置する。						
	評価指標	指標						達成目標
		論文数(査読有りのもの、学術書掲載のもの)						英文誌70件(年間)
		学会発表(国際学会での招待講演、シンポジスト招聘に限る)						25件(年間)
	特許保有件数						3件(第2期中期計画期間を通して年間に保有する件数)	
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
研究に関する評価・公開システムの充実							→	
知的財産関連部門の設置	検討		実施	検証			→	

3	実施事項	外部大型研究資金の獲得						
	内容	①大学として、大型外部資金獲得のために積極的な活動を行う。						
	評価指標	指標						達成目標
		科学研究費、委託研究費、共同研究費、奨学寄付金の獲得件数						科学研究費60件(年間) 委託研究費・共同研究費60件(第2期中期計画期間中) 奨学寄付金60件(第2期中期計画期間中)
	文部科学省等が設定する大型プロジェクトの獲得						1件(第2期中期計画期間中)	
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	外部大型資金の獲得							
大型プロジェクトの獲得								
4	実施事項	産学官連携の推進						
	内容	①一般企業ならびに学外諸機関との交流を深め、歯学部得意分野を活かした連携を推進する						
	評価指標	指標						達成目標
		産学官連携件数						40件(第2期中期計画期間中)
	特許出願件数						10件(第2期中期計画期間中)	
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
産学官連携の推進								

中期目標	項目	社会貢献
中期計画	項目	地域社会への貢献及び国際交流に関する体制の構築・維持 1. 社会貢献及び国際交流の促進 2. 地域連携及び国際交流に係る業務の組織的対応
	実施事項	1. リカレント教育の充実 2. 他大学との社会貢献共同プログラムの実施及び研究成果等の地域への発信 3. アジアを軸とした海外との連携促進 4. 地域住民の健康増進に資する普及・啓発活動の実施 5. 地域における在宅療養高齢者に対する歯科保健医療サービスの提供

中期計画内容								
1	実施事項	リカレント教育の充実						
	内容	①地域歯科医療に携わる歯科医療職に対して、セミナーの開催やe-learning等を通じたリカレント教育を展開する。						
	評価指標	指標			達成目標			
		開催回数および受講者数			開催回数:2回/年 受講者数:50人/回			
		アンケートによる満足度調査			満足度4点以上(満点5)			
	e-learningの満足度調査			満足度4点以上(満点5)				
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	セミナーの開催	検討	実施	検証				→
e-learningの充実							→	
2	実施事項	他大学との社会貢献共同プログラムの実施及び研究成果等の地域への発信						
	内容	①県立三大学連携による社会貢献共同プログラムを実施する。 ②市民公開講座等を通じて、地域住民に研究成果等の情報を広く発信する。						
	評価指標	指標			達成目標			
		県立三大学連携による社会貢献共同プログラムの実施			1企画以上			
		市民公開講座開催数および受講者数			開催数:3回/年 受講者数:50人/回			
	受講者の満足度に係るアンケート			受講者の満足度:満足度4以上(満点5)				
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	県立三大学連携による社会貢献共同プログラムの実施	検討	実施					→
市民公開講座の実施							→	

3	実施事項	アジアを軸とした海外との連携促進							
	内容	①アジア諸国から留学生を積極的に受け入れる体制を強化する。 ②海外大学との学術交流を推進する。 ③ネパールやベトナムを中心とした歯科保健活動を推進する。							
	評価指標	指標						達成目標	
		留学生数							5人(第2期中期計画期間中)
		海外大学との学術交流件数							5件(第2期中期計画期間中)
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考	
	留学生の受け入れ体制の強化							→	
海外大学との学術交流推進							→		
ネパール・ベトナム等での歯科保健活動推進							→		
4	実施事項	地域住民の健康増進に資する普及・啓発活動の実施							
	内容	①保育園、幼稚園等への訪問による講演や歯科相談を実施する。 (歯と口を通じた地域住民の子育て支援活動) ②公民館、老人クラブ等への訪問による講演や歯科相談を実施する。 (食べる機能の維持・向上を通じた高齢者の自立支援活動) ③福岡県歯科保健医療計画の見直しに必要なデータを提供する。 (福岡県民への歯科保健医療施策に対する後方支援活動)							
	評価指標	指標						達成目標	
		①保育園、幼稚園等への訪問回数及びアンケート調査							5回、満足度4以上(満点5)
		②公民館、老人クラブ等への訪問回数及びアンケート調査							5回、満足度4以上(満点5)
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考	
	歯磨き教室や歯科相談の実施	検討	実施	検証				→	
お口の健康教室や歯科相談の実施	検討	実施	検証				→		
福岡県歯科保健医療計画における貢献	検討	実施	検証				→		
5	実施事項	地域における在宅療養高齢者に対する歯科保健医療サービスの提供							
	内容	①地域で在宅療養を行っている高齢者の口腔機能に着目して、摂食嚥下リハビリテーションなどの歯科保健医療サービスを提供する。							
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考	
	在宅療養高齢者への歯科保健医療サービスの提供	検討	実施	検証				→	

中期目標	項目	業務運営
中期計画	項目	事務局体制の強化 1. 戦略的・自律的大学運営をさらに進めるための専門部署の設置 2. 専門性を有する人材の確保・育成による、県派遣職員に依存する業務体制から自律的大学運営に資する業務体制への転換
	実施事項	1. 大学の戦略的・自律的大学運営を企画主導する企画広報部門の設置及び運営体制の検証 2. プロパー職員の採用と専門性を持った大学職員の育成 3. SDの実施や専門研修等への派遣、キャリア開発支援等を軸とした事務局職員の資質・能力の向上

中期計画内容								
1	実施事項	大学の戦略的・自律的運営を企画主導する企画広報部門の設置及び運営体制の検証						
	内容	①大学運営の戦略や中期計画等重要事項の企画立案・検討を行い、情報発信の中心となる企画広報部門を経営管理部に設置する。 ②企画広報部門により、戦略的・自律的大学運営を推進する。 ③企画広報部門の業務運営を検証する。						
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	企画広報部門の設置及び運営	実施						→
	企画広報部門の組織・業務の検証		実施					→
2	実施事項	プロパー職員の採用と専門性を持った大学職員の育成						
	内容	①事務職や看護職等のプロパー職員を採用し、将来の大学運営を担う専門性を持った職員を育てる。 ②プロパー事務職員の人事評価制度を導入し、必要に応じて見直す。 ③人事評価に基づき採用計画の検証・見直しを行い、第3期中期計画期間に向けた事務局体制を検討する。						
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	プロパー職員の採用							→
	人事評価制度の導入及び検証	検討	実施	検証				→
3	実施事項	SDの実施や専門研修等への派遣、キャリア開発支援等を軸とした事務局職員の資質・能力の向上						
	内容	①福岡県の公立大学の職員としてふさわしい知識や資質を身に付けさせるため、事務職員を対象としたSDを検討し実施する。 ②大学運営のスペシャリストとして育成するため、プロパー職員を公立大学協会等が主催する外部セミナーや専門研修へ派遣する。 ③事務職員の自律的なキャリア開発支援として、自己啓発や通信教育などに対する支援を検討し実施する。 ④より機能的な事務体制の実現に向けて、県立三大学の事務処理の共通化を検討し実施する。						
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	三大学共同のSDの検討・実施	検討	実施	検証				→
	専門研修等への派遣							→
	キャリア開発支援の検討・実施	検討	実施	検証				→
三大学間事務処理共通化の検討・実施							→	

中期目標	項目	業務運営
中期計画	項目	安全管理体制の整備・充実 1. 戦略的・自律的大学運営を支える安全管理体制の充実 2. 安心・安全の医療の提供
	実施事項	1. 情報ネットワークや情報セキュリティの強化による情報マネジメントシステムの拡充 2. 安心・安全の医療を提供するための体制の整備

中期計画内容

1	実施事項	情報ネットワークや情報セキュリティの強化による情報マネジメントシステムの拡充						
	内容	①情報セキュリティポリシーを策定する。 ②情報セキュリティの検証、教職員に対する広報・研修を行い、情報マネジメントの運用体制の充実を図る。						
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	情報セキュリティポリシーの策定	検討	策定	検証				→
	情報セキュリティの運用体制の充実		実施					→
2	実施事項	安心・安全の医療を提供するための体制の整備						
	内容	①附属病院診療機器更新の整備計画を策定する。 ②診療情報管理体制を充実する。 ③医療情報システムを充実する。 ④医療安全に関する検証・対策を強化する。 ⑤医療従事者の技術向上等に向けた研修体制を拡充する。						
	評価指標	指標						達成目標
		医療従事者の技術向上等に関する研修の実施						年2回
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	診療機器の更新	検討	実施	実施	実施	実施	検討	→
	診療情報管理担当者の配置	検討	実施	検証				→
	リスクマネジメント活動の強化	検討	実施	検証				→
	電子カルテシステムの検討				検討			→ H29までに導入の可否について検討
	医療従事者に対する研修の実施	実施	検証					→

中期目標	項目	業務運営
中期計画	項目	教員個人業績評価の充実 1. 個人業績評価制度の適切な運用
	実施事項	1. 個人業績評価制度の検証と適切な運用

中期計画内容								
1	実施事項	個人業績評価制度の検証と適切な運用						
	内容	①口腔保健学科教員に対応する個人業績評価制度を検討し、1学部2学科体制に適した運用方法を構築する。 ②個人業績評価に係る教員処遇方法を検証し、必要に応じて改善する。						
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	制度の検討及び実施・運営	検討	実施	検証				→
	教員処遇方法の検証	検討	実施	検証				→

中期目標	項目	業務運営
中期計画	項目	附属病院の業務改善 1. 新たな診療体制の確立 2. 地域歯科医療連携体制の整備 3. 療養担当規則の徹底等、より適切な保険診療の推進
	実施事項	1. 診療科再編による診療体制の充実 2. 地域包括型歯科医療連携の機能の整備 3. 療養担当規則をベースとした保険診療の推進

中期計画内容								
1	実施事項	診療科再編による診療体制の充実						
	内容	①診療科再編の効果を検証し、先進医療の円滑な実施に資する診療体制を確保する。						
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	診療科再編の検証と診療体制の確保							→
2	実施事項	地域包括型歯科医療連携の機能の整備						
	内容	①病診連携室の業務を拡充し、地域包括型歯科医療連携体制を整備する。						
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	病診連携室の体制の拡充							→
3	実施事項	療養担当規則をベースとした保険診療の推進						
	内容	①電子カルテシステムの検診状況を踏まえ、診療記録の記載を充実する。 ②保険診療の理解を深化させるための研修を実施する。 ③診療報酬請求業務を充実させる。						
	評価指標	指標						達成目標
		保険診療業務に関する研修						年12回
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	診療記録記載の充実	検討	実施	検証				→
	保険診療の理解を深化させるための研修	実施	検証					→
診療報酬請求業務の充実							→	

中期目標	項目	財務
中期計画	項目	法人収入の確保 1. 外部資金の獲得
	実施事項	1. 外部研究資金等の獲得

中期計画内容								
1	実施事項	外部研究資金等の獲得						
	内容	①科学研究費、受託研究費・共同研究費、奨学寄付金等の個人研究費に加え、大学として外部大型資金の確保を図る。						
	評価指標	指標					達成目標	
		科学研究費、受託研究費、共同研究費、奨学寄付金の獲得件数及び金額					<ul style="list-style-type: none"> ・科学研究費 60件 100,000千円 (年間) ・受託・共同研究費 60件 100,000千円 (第2期中期計画期間中) ・奨学寄付金 60件 50,000千円 (第2期中期計画期間中) 	
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	科学研究費等外部個人研究費の獲得							→
	大学主導の大型研究費の獲得							→

中期目標	項目	財務
中期計画	項目	<p>運営経費の抑制</p> <p>1. 業務の電子化・システム化による事務の省力化、人件費の抑制</p> <p>2. 事務局業務の外部委託による人件費の抑制</p>
	実施事項	1. 事務局業務の外部委託、電子決裁システム導入や業務のシステム化による事務の省力化・人件費の抑制

中期計画内容

1	実施事項	事務局業務の外部委託、電子決裁システム導入や業務のシステム化による事務の省力化・人件費の抑制						
	内容	<p>①事務局の定型的な業務である給与支給事務を外部委託し、職員の削減と人件費の抑制を図る。</p> <p>②電子決裁システムを導入し、事務の省力化・ペーパーレス化を進める。</p> <p>③大学全体のIT化の一環として可能な業務をシステム化し、事務の省力化と従事人員の削減を図る。</p>						
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	給与支給事務の外部委託							→
		実施	検証					
	電子決裁システムの導入							→
		検討	実施	検証				
業務のシステム化							→	
	業務分析	検討		実施				

中期目標	項目	財務
中期計画	項目	附属病院の収入の向上 1. 高次医療の提供 2. 先進医療及び自費診療の推進 3. 訪問歯科診療の促進
	実施事項	1. 地域包括型歯科診療連携体制に基づいた高次医療の提供による収入増 2. 先進医療及び自費診療の積極的推進による収入増 3. 訪問歯科診療の促進による収入増

中期計画内容

1	実施事項	地域包括型歯科診療連携体制に基づいた高次医療の提供による収入増						
	内容	①地域の歯科医療機関との連携を積極的に進め、高次医療を提供することにより診療報酬の増を図る。						
	評価指標	指標						達成目標
		かかりつけ歯科医等との地域連携パスの策定						
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	かかりつけ歯科医等との地域連携パスの策定	検討		実施	検証			→
2	実施事項	先進医療及び自費診療の積極的推進による収入増						
	内容	①先進医療の届出を積極的に進め、診療報酬等の収入増を図る。 ②地域住民に高度な医療を提供する自費診療を推進し、収入増を図る。						
	評価指標	指標						達成目標
		先進医療の届出件数						第2期中期計画期間中を通じて2件(継続分1件+新規分1件)
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	先進医療の届出件数の検証							→
	自費診療の推進							→
3	実施事項	訪問歯科診療の促進による収入増						
	内容	①歯科診療所に対応が困難な患者に対し社会的要請の高まる訪問歯科診療を促進する。						
	評価指標	指標						達成目標
		歯科診療所に対応困難な患者に対する訪問歯科診療及び訪問口腔衛生指導の実施回数						24回/年
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	訪問歯科診療及び訪問口腔衛生指導の促進	検討	実施	検証				→

中期目標	項目	評価及び情報公開
中期計画	項目	外部評価の大学運営への反映 1. 外部機関の評価結果の大学運営への反映 2. 次期外部評価に向けた適切な対応
	実施事項	1. 適切な自己評価の実施及び外部評価の大学運営への反映

中期計画内容								
1	実施事項	適切な自己評価の実施及び外部評価の大学運営への反映						
	内容	①県評価委員会の評価結果を教職員に周知し、法人運営の現状と課題に対する意識付けを行うとともに、評価の低い事項について改善に向けた取組を行う。 ②次期認証評価に向けた自己評価部会を立ち上げ、新たな評価基準に沿った自己評価を行うとともに、教職員や学生、卒業生に対するアンケートを継続的に実施する。 ③認証評価機関の評価を検証し、大学運営の改善すべき事項に対して速やかに対応する。						
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	教職員への周知及び改善に向けた取組							→
	自己評価部会の設置及び自己評価						→	
	教員・学生・卒業生に対するアンケートの実施				→			
改善すべき事項の検証及び改善							→	

中期目標	項目	評価及び情報公開
中期計画	項目	全国唯一の公立歯科大学としてのブランドイメージの確立 1. 教育研究活動等の積極的な情報発信 2. 高校生向けの広報誌の発行及びITを活用した授業配信の実施 3. 百周年記念事業の活用
	実施事項	1. 教育・研究活動情報及び研究実績の学外への積極的な発信 2. 百周年記念事業を活用した大学情報の発信

中期計画内容

1	実施事項	教育・研究活動情報及び研究実績の学外への積極的な発信						
	内容	①大学の教育方針(アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー)を広く学外に発信する。 ②本学の特色ある教育内容をホームページやQ-shidaiゼミで公開し、外に開かれた大学イメージを醸成する。 ③大学の成果をまとめた広報冊子を作り公開するほか、大学案内を刷新する。 ④教育研究活動情報公開制度に対応してホームページを充実する。						
	実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
	大学教育方針の発信							→
	実施							
	授業等の配信・公開							→
	検討	実施	検証					
	広報冊子の作成、公開							→
検討	実施	検証						
大学案内の刷新							→	
検討	実施							
webページの充実、更新頻度や内容の検証							→	
2	実施事項	百周年記念事業を活用した大学情報の発信						
内容	①広報誌、大学案内及びホームページ等すべての広報媒体を活用し、創立百周年を情報発信する。 ②大学の主要事業について、可能なものは「百周年記念事業」を前面に出して実施する。 ③百周年記念の一環として行う各種事業や新たに作成する記念誌等において大学情報を広く発信する。							
実施計画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考	
広報媒体による創立百周年の情報発信			→				百周年記念式典は26年5月	
実施								
「百周年記念事業」を前面に出した事業の実施				→				
実施								
百周年記念事業及び記念誌等での情報発信							→	
実施								

I 収支計画予算及び資金計画予算

1. 収支計画予算

平成24年度～平成29年度 収支計画予算

(単位:百万円)

区 分	金 額
費用の部	19,313
業務費	17,862
教育研究経費	2,056
診療経費	3,919
受託研究費等	123
人件費	11,764
一般管理費	1,449
財務費用	2
(減価償却費 再掲)	(692)
収益の部	19,313
運営費交付金収益	8,396
授業料収益	2,400
入学金収益	382
検定料収益	52
附属病院収益	6,899
補助金収益	342
雑益	295
受託研究等収益	40
寄附金収益	87
資産見返運営費交付金等戻入	115
資産見返補助金戻入	228
資産見返物品受贈額戻入	77
純利益	0

[運営費交付金の算定方法]
別紙のとおり

2. 資金計画予算

平成24年度～平成29年度 資金計画予算

(単位:百万円)

区 分	金 額
資金支出	19,555
業務活動による支出	18,621
投資活動による支出	90
財務活動による支出	251
次期中期目標期間への繰越金	593
資金収入	19,555
業務活動による収入	18,960
運営費交付金による収入	8,465
授業料等による収入	2,834
附属病院収入	6,899
補助金による収入	342
受託研究等による収入	127
その他収入	293
投資活動による収入	2
財務活動による収入	0
前期中期目標期間よりの繰越金	593

II 短期借入金の限度額

1. 短期借入金の限度額

3億円

2. 想定される理由

運営費交付金の交付時期と資金需要の期間差及び事故の発生等により緊急に必要となる対策費として借り入れすること。

III 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

なし

IV 剰余金の使途

決算において剰余金が発生した場合は、教育研究及び診療の質の向上並びに組織運営の改善に充てる。

V その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

1. 法第40条第4項の規定により業務の財源に充てることができる積立金の処分に関する計画

積立金は、教育研究及び診療の質の向上並びに組織運営の改善に充てる。

2. その他法人業務運営に関し必要な事項

なし

運営費交付金の算定方法

運営費交付金＝普通交付金＋特別交付金

[普通交付金の算出方法]

普通交付金＝標準的支出額－標準的収入額

I 標準的支出額

人件費＋教育研究経費＋診療経費＋一般管理経費

(1) 人件費（退職手当を除く。）

平成23年度における役員、教職員の実員×平成20年度から平成22年度まで（以下「過去3か年」という。）の実績から算出した役員、教職員1人当たりの額

（注）退職手当については、法人の役員退職規程及び法人の大学職員退職規程に基づいて支給することとするが、運営費交付金として交付される金額については、各事業年度の予算編成過程において算定される。

(2) 教育研究経費及び一般管理費

5月1日現在の学生数×過去3か年の実績から算出した学生1人当たりの額

(3) 診療経費

過去3か年の平均患者数×過去3か年の実績から算出した患者1人当たりの額

II 標準的収入額

授業料＋授業料以外の学生納付金（入学金等）＋検定料＋診療収入＋その他の収入

(1) 授業料

5月1日現在の学生数×当該年度の授業料単価×収入歩合×留保財源率

※ 収入歩合＝98%

※ 留保財源率＝95%（平成24年度は95%。平成25年度以降は、評価委員会の評価に応じて92%から98%までの間で率が決定される。）

(2) 授業料以外の学生納付金（入学金等）

5月1日現在の入学生×入学料単価 など

(3) 検定料

過去3か年の平均志願者数×検定料単価

(4) 診療収入

過去3か年の平均患者数×過去3か年の実績から算出した患者1人当たりの額

(5) その他の収入

過去3か年の実績から算出した額

[特別交付金の算出方法]

法人の事情による特別経費として、当該年度において措置する経費